

平成27年度 第10回

日南市教育委員会

会議録

平成27年11月19日(木) 午後3時から
日南市役所 本館2階会議室

- 1 会議の名称 平成 27 年度教育委員会 第 10 回会議（定例）
- 2 会議日時 平成 27 年 11 月 19 日(木)
午後 3 時 00 分から午後 4 時 30 分まで
- 3 出欠確認
(1) 出席委員 迫元茂保 八木真紀子 郷谷純一
黒木康英 崎村洋子

(2) 事務局 学校教育課長 倉元保久
学校教育課学校教育担当監 沼田重明
学校教育課長補佐兼管理係長 和田考巨
生涯学習課長補佐兼生涯学習係長 海老原雄一
学校教育課指導主事 加治屋輝昭
学校教育課管理係主査 瀬田順司
- 4 場所 日南市役所 本館 2 階会議室
- 5 傍聴者 3 名

6 開会

【迫元委員長】

「皆さん、こんにちは。

日南市教育委員会では、開かれた教育委員会ということでいつも広報の方で日程等をお知らせしています。

今日は、たくさんの方に傍聴をいただきましてありがとうございます。

今後ともよろしく願います。

委員の皆様におかれまして 11 月は、研究発表、学校訪問、教育委員研究大会等、行事がたくさんありました。

実りの秋にふさわしい日々を過ごされたのではと思います。

まだ、今後もいくつか行事がはいっていますのでよろしく願います。

それでは、平成 27 年度第 10 回教育委員会定例会を開会いたします。」

7 出席者及び傍聴者確認

【迫元委員長】

「出席者及び傍聴者確認についてです。本日は、委員 5 名、全員出席です。(傍聴者 3 名)」

【倉元課長】

「本日は、岡本生涯学習課長が別の公務が入っているため欠席です。それ以外の事務局職員全員出席です。」

8 活動報告

(1) 教育委員長活動報告【迫元委員長】

10月30日、油津中学校の研究公開があり出席いたしました。

委員の皆様も出席されたところです。

研究主題は「基礎・基本の定着を図り、主体的に学習に取り組む生徒をはぐくむ指導方法の工夫」でした

副題は、～油中サイクルの実践を通して～でした。

その中で、発表・学びあいのための人間関係の醸成、5つの授業形態などの研究内容がありました。

本当に生徒たちが生き生きと楽しく学習に取り組んでおりました。

ほかの学校の参考になる研究であったと思います。

11月2日、福祉サービス苦情解決セミナーがシーガイアであり、出席いたしました。

今回は、2つの講演がありました。

講演は、「社会福祉における苦情解決」というテーマで宮崎産業経営大学の廣田准教授が講演をされました。

講演は、「運営適正化委員会の苦情の解決機能の検討」というテーマで、同じく宮崎産業経営大学の村田准教授が講演をされました。

11月3日、第7回日南市功労表彰式典及び祝賀会がホテルシーズンであり、出席いたしました。

本年度は、地方自治功労部門から3名の方が表彰されました。

前市長の谷口義幸氏、前副市長の阪元勝久氏、倉岡清美氏の3名でした。

3氏とも、旧日南市、南郷町、北郷町の市長・町長として、市政・町政発展のためにご尽力され、合併後は、市長・副市長として新日南市の基礎づくりにご尽力されました。

11月4日、南郷中学校の学校訪問があり、出席いたしました。

南郷中学校は、学校長の経営方針である「気づき、考え、行動する生徒」に向けて、教務主任、生徒指導主事、研究主任をはじめとする職員が、具体的方策を立て、きめ細かな指導がなされておりました。

特色として、スケジュールノートの活用により、計画的な行動や先を読む行動、ルーティンの重視をすることで、きちんとした学校生活が送られていると感じました。

11月6日、細田小学校の学校訪問があり、出席いたしました。

細田小学校は、「心豊かで、たくましく、ひとみかがやく子どもの育成」という目標のもとに、学力向上のためのきめ細かな手立てや家庭との連携にご尽力されておりました。

11月7日、くろしお支援学校の「日南くろしお日南陽祭」があり、参観いたしました。

先生方が多くのボランティアの方々の支援を受けながら、一人一人の子供が輝く日南陽祭を作り上げられているなという印象をもちました。

プログラムにも様々な工夫がみられて、感動的な発表でした。

命の尊厳と生きることを感じる半日になりました。

11月9日、未来へつなぐ子ども議会があり、出席いたしました。

委員の皆様も出席されたところでした。

市内の各中学校から、2名の代表の子ども議員が参加し、日南市の未来について、質問や自分の考えを述べておりました。

生徒たちは、決められた時間の中で、日南市の未来を考え、質問の内容を検討し、堂々と質問をしておりました。

素晴らしい経験になったのではと思います。

11月13日、日南市基礎学力アップ推進事業研究発表会ということで、東郷小中学校の研究発表会に出席いたしました。

東郷小中学校では、「4つの学ぶ力」を身に付け、仲間とともに生き生きと学ぶ子どもの育成を研究主題として、「小中一貫教育の視点で実践するキャリア教育を通して」を副主題に研究され、その成果を発表していただきました。

特に、4つの学ぶ力とキャリア教育の観点の整理がなされ、これからの日南市のモデルになる研究がなされていると感じました。

一貫教育校らしい良さがみられる研究だったと思います。

11月16日、市町村教育委員と県教育委員との意見交換会があり、崎村委員とともに出席いたしました。

今回のテーマは、「不登校の現状・取組と今後の対策について」でした。

それぞれの教育委員会の現状と取組を発表したのちに、意見交換を行いました。

地域によって、現状・取組に違いはありましたが、真剣な意見交換ができ、今後、危機感をもってこの問題に取り組んでいくことを確認いたしました。

その後、情報交換会があり、県の教育委員の方、教育事務所の方、他の市町村の教育委員の皆さんと親しく情報交換することができて、有意義な時間を過ごすことができました。

11月17日、市町村教育委員会連合会の研究大会があり、委員の皆さんとともに出席いたしました。

研究事例発表では、日之影町と都城市教育委員会の発表がありました。

都城市教育委員会の発表は、「都城市版コミュニティ・スクールについて」というテーマで、特色ある取組を発表されました。

日之影町教育委員会は、「日之影町だからできる教育環境を生かした教育行政」というテーマで、主にICT教育の取組を発表されました。

その後の講演では、NPO法人人間関係アプローチ宮崎きらきらの辰身信子氏、甲斐恵美氏による体験を取り入れた講演がありました。

その中で、いじめモードを止めるための体験プログラムがとても印象に残りました。

いじめストップのためには、子ども達自身がいじめについて、理解し、考え、勇気をもって態度に表すことが大切だと感じました。

11月18日、日南市基礎学力アップ推進事業研究発表会ということで、大堂津小学校の研究発表会に出席いたしました。

大堂津小学校は、研究主題を「自ら学び、確かな学力を身に付けることのできる児童の育成」として、しっかり教える・じっくり考えさせるための学習指導の在り方、算数的活動を効果的に取り入れた学習指導の在り方、Web学習単元評価システム活用の在り方の3つの研究内容について、2か年間の研究の成果を発表していただきました。

学習指導過程の各段階の意味をしっかり見つめ、学習形態や算数的活動を効果的に取り入れながら、子ども達がしっかりした表現力のもとで、質の高い授業がなされていたと感じました。

以上、活動報告を終わります。

(2) 教育長活動報告【黒木教育長】

10月23日、積み木プロジェクトに出席しました。

これは、小学校2年生の教材を作成するというものです。

中学校の先生方を中心に動き始めました。

今日の夜に小学校の先生を含めた第2回目の積み木プロジェクトが開催されます。

10月24日、小学校の算数の処平塾があり、出席しました。

児童参加数 155 名、保護者を含めると 200 名以上の方が参加されました。

宮崎大学と連携して、取り組みました。

10 月 31 日、中学校の英語の定平塾があり、出席しました。

各中学校から 21 名の生徒が集まりました。

先生方にボランティアで募集したところ 8 名の先生方から協力をいただきました。

A L T と先生方と 21 名の生徒で 1 日英語活動を行いました。

1 日英語づくで大変なプログラムだったと思いますが、子ども達の感想を読んでも「非常におもしろかった」とか「はじめは、ぎこちなかったけど、やがて自分で英語が聞き取れるようになった」等の感想がありました。

来年も開催されれば、参加したいということも書かれていました。

11 月 14 日、生涯学習フェスタ in 東郷があり、出席しました。

東郷地区の自治公民館活動は、非常に先んじた取り組みが行われています。

その活動は地域に根ざしています。

小中学生がその活動に積極的に参加して、生涯学習について考えるという発表会でした。

特に、地域の伝統文化等について、高齢者や地域の青年団から子ども達への継承の姿を見ることができて非常によかったです。

11 月 17 日、こんな日南になったらいいなの発表会があり、出席しました。

観光マップづくりを提案した油津小学校の児童 3 名が最優秀でした。

次点が日南弁飴肥杉カルタでした。

実現性可能なものということで、飴肥杉マップが最優秀になったわけですが、甲乙つけがたい作品でした。

小中学生併せて、340 点の応募があったということでした。

その中で、予選を通過した 10 点が当日発表されました。

11 月 18 日、生徒指導主事役員との情報交換会があり、出席しました。

来年度、日南市で宮崎県の生徒指導の県大会が開かれます。

その役員と市教育委員会と連携して取り組むということでいろいろなことについて、情報交換を行いました。

以上、活動報告を終わります。

(委員長) 委員の皆様でその他参加された行事があると思いますが、何かありませんか。

(郷谷委員) 11 月 13 日に行われた平成 27 年度市町村新任教育委員研修会について報告します。

崎村委員と私で出会いたしました。

内容について、最初、県の教育委員から「教育委員の果たす役割」という題目で自分の体験談も含め、基本的な考え方について話されました。次に、「教育委員会制度の概要について」ということで、県教育庁総務課の主幹から、教育委員会の基本理念や組織、仕組み、教育委員会制度の改正があったこと等について、資料に基づいて説明をいただきました。それから、その次に「本県の教育施策について」ということで、県教育庁総務課の課長補佐から話がありました。

主な内容は、第二次宮崎県教育振興基本計画改訂版についてでした。その改訂の基本的な考え方、改訂の3つポイント等の説明を中心に話しをしていただきました。

最後に教職員の服務について、話がありました。

最初は、口頭でいろいろ話をされていましたが、途中で映像を見て説明が行われました。

子ども達から信頼される教師、保護者から信頼される教師、地域社会から信頼される教師ということで、信頼という言葉を多く使われ話されました。

私は、このことが一番印象に残りました。

9 前回の議事録承認

作成中のため次回の定例会議で承認

10 議題について

協議1 小中一貫教育の現状と課題について

(加治屋指導主事)	小中一貫教育の現状と課題について説明。
(沼田担当監)	小中一貫校校長会について説明。
(委員長)	ただいま、加治屋指導主事が小中一貫教育の現状と課題について説明され、また、小中一貫校校長会について沼田担当監が説明をしていただきました。
(委員長)	おふたりの説明について、御意見、御質問はありませんか。私のほうからひとつ質問よろしいでしょうか。

学校教育法が変わって、義務教育学校というふうになるということでした。

このことについて、日南市としては、他の市町村の状況を見てということでした。

このことは、市町村で選択ができるのか、あるいは、現実的にそのような学校になっていた場合、経過措置が過ぎたら自動的に義務教育学校になるのか。

そのあたりは何かわかりますか。

(沼田担当監)

先ほど加治屋指導主事の説明の中に調査が入りましたと説明がありました。

この調査は、来年4月からスタートしますが、今、小中一貫校をやっている学校で義務教育学校に変更する市町村はありませんかという調査でした。

先ほどの説明のとおり、日南市は、まだしないということです。

ただ、その先何年かたったら自動的にそうなるかどうかということまでは連絡がきていません。

補足しますと義務教育学校というのは、新たな学校の校種が増えるということで、子ども、保護者にとっては、学校の選択肢が増えるということになります。

今、フリースクールとか選択肢の中にはいってこようとしてきていますが、そのような選択肢を増やすという良い面はあると思います。

もうひとつは、9年間の6・3制を変更できるという点があります。

これについては、実際、日南市も行っていきますので、特に義務教育学校にしないとそれができないということでもありません。

今すぐ義務教育学校にする必要性はありません。

あと、免許のことがでましたが、今も小中の免許がなくても県教委が考慮してそういった先生をいれていただいています。

県教委から配慮をしていただいているので慌てて義務教育学校にする必要はないということです。

それから特例校として、今、北郷の方は申請していますが、義務教育学校になったら申請の必要とか報告の義務が無くなります。

そのことについてもたいした手続きではないのでしばらく様子を見ようということになっています。

(教育長)

補足します。

これについては、年度途中の提案ですので、このことを打ち出した時に学校は、慌てると思います。

(委員長)

そこまでのメリットが今のところ見あたらない。
今の状況で十分対応できるというのが基本的な考え方です。
質問ではなく感想でもけっこうですが。
何かありませんか。

(郷谷委員)

ひとつ質問してもいいですか。
市内3校の小中一貫教育校は、それ以外の市内の学校のプログラムと別のプログラムがあるのですか。

(教育長)

これは、別になります。
小中一貫教育校は、乗り入れ授業が入ります。
例えば、中学校の教師が小学校に行って、その授業の中に参加するというような小中連携型とは中身が違います。

(委員長)

完全に中学校の先生がそこを担当するということですね。

(教育長)

小中一貫教育校はそうです。

(教育長)

昨日、北郷小中学校に行ってきました。

校長先生と話をした時に特に喜ばれていたのが美術の専門的な指導者が来たことで、北郷小中学校の児童生徒の作品が文部科学省等で表彰されるなどそのようなことが非常に多くなったそうです。

このような専門的な指導が受けられることは、子ども達にとって幸せだと話されました。

音楽もそうです。

小中一貫校になることで、小学生も常時このような技能教科の専門的な指導が受けられます。

このことが大きなメリットだと考えています。

(崎村委員)

先ほどいわれましたが、一貫校にするために校舎を含めた場所がネックになるのですね。

(教育長)

去年と今年で東郷小中学校の施設整備に力を入れました。

それは、今まで小学校と中学校の職員室、事務室が別々だったのを学校教育課長を中心に積極的に動いていただいて、職員室と事務室をひとつにしてもらいました。

このことで、一貫校という形ができあがって、職員間の交流も活発になりました。

校長先生からも非常に良かったですという話を聞きました。

去年、職員室をひとつにしたことにより、今年は随分変わったそうです。

(郷谷委員)

もうひとつ質問をよろしいでしょうか。

先ほど、担当監の説明の中で北郷は、小学校1年生から英語の授業

	<p>ができますという話がありましたが、それは特区だからそのようなことができるのですか。</p>
(沼田担当監)	<p>はい。</p> <p>特例校の申請をしていますのでできます。</p>
(郷谷委員)	<p>そうすると市内の他の小学校の児童は、英語の取組みが遅くなるのですね。</p>
(崎村委員)	<p>今のところ特例校は、北郷だけです。</p> <p>これからの特例校の予定は。</p>
(沼田担当監)	<p>南郷小学校が来年度から海洋教育の特例校になります。</p>
(八木委員)	<p>特例校は、何年間とか決まりがあるのですか。</p>
(教育長)	<p>これは、2年間です。</p>
(倉元課長)	<p>国の事業で行い、南郷小学校をモデル校とします。</p> <p>学校の特色を出して児童生徒を呼び込むにつながればと思い、特例校として申請しました。</p>
(教育長)	<p>国から200万の予算が補助されます。</p>
(委員長)	<p>今後、3校で3校共通の実力テストを行うということですが、中学校のみですか。</p>
(教育長)	<p>そのあたりは、学校に任せています。</p> <p>これは、教育委員会からやってくださいといったものではありません。</p> <p>一貫校の先生方が集まって、話し合った中でこの取組みが決まりました。</p> <p>どういう形で実施するかは、3校の校長先生にませたいと思っています。</p>
(委員長)	<p>これも新しい取組みだと思しますので、期待しています。</p>
(委員長)	<p>その他、何かありませんか。</p> <p>(ありません。)</p>
(委員長)	<p>小中一貫教育の国の状況、日南市の状況が今の説明で随分よくわかったと思います。</p> <p>この件については、終わります。</p>

協議 2 ふれあいコミュニケーションについて

(瀬田主査)	ふれあいコミュニケーションについて説明。
(委員長)	ただいま、説明のあったことについて、確認、協議をしたいと思 います。 実施期日については、学校と打ち合わせをしないと明確にできませ んが、案のこの時期でよろしいでしょうか。
(委員長)	(了承) 次にふれあいコミュニケーションの内容と流れについてです。 特に第3部のところですが、意見交換会のテーマをふたつ考えまし た。 まず、「榎原、大好き」ですが、子ども達が榎原の地域、自分達の学 校の好きなところを発表してもらいます。 ふたつ目のテーマの「私もひとこと」は、日南市の学校の将来とか 自分達の将来に対する考えを聞き、その中で取り入れる意見があれば 取り入れるという狙いで考えたテーマです。 この内容と流れは、いかがでしょうか。
(八木委員)	小学生と中学生でわかるのですね。
(委員長)	はい。
(崎村委員)	テーマは、ふたつありますが、それぞれでひとつのテーマに絞って 行うのですか。
(委員長)	どちらも、このふたつのテーマで意見交換を行います。
(八木委員)	「私もひとこと」は、全員が自分のことについて話すかんじですか。
(委員長)	自分のことでもいいですし、日南市の将来や学校教育について、自 分の考えを述べてもいいです。 これでよろしいでしょうか。
(委員長)	(了承) 次に意見交換会の分担表ですが、教育長については、全体を見ても らいます。 教育委員が小学生と中学生のふたつに分かれることになります。 私と崎村委員、八木委員と郷谷委員が組んでいただきます。 私と崎村委員が小学生、八木委員と郷谷委員が中学生でよろしいで しょうか。
(委員長)	(了承) 意見交換会が円滑にいくように司会進行を指導主事の先生方にお願 いしたいと思います。

(委員長)

課長、担当監等についても分担表のとおりお願いします。
本日、協議した結果を明日、学校の方に私と瀬田主査で相談に行ってきます。
また、そこではっきり決まりましたら次回の定例教育委員会で報告したいと思っています。
この件については、終わります。

1 1 その他

(1) 12月行事予定について

(2) 第11回 教育委員会会議(定例)

日時 平成27年12月18日(金)、午後3時から
場所 日南市役所・本館2階会議室

(3) 12月補正予算について

学校教育課所管分 和田補佐説明
生涯学習課所管分 海老原補佐説明

1 2 閉会